

平成 23 年 12 月 9 日

報道関係各位

社団法人 日本電気計測器工業会 (JEMIMA)

電気計測器の中期予測 2011～2015 年度

2011 年度の電気計測器全体の売上見込みは 8,329 億円 (前年度比 4.4%増)、
2012 年度以降も緩やかに伸長

社団法人 日本電気計測器工業会 (会長 堀場 厚) は、当工業会の統計データをもとに 2015 年度までの電気計測器の需要予測を行い、冊子「電気計測器の中期予測 2011～2015 年度」版を発行いたしました。

2010 年度は、中国を始めとする活況なアジア市場に牽引され、売上高は前年度比 29.1%増の 7,975 億円と大幅な増加となりました。

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災以降、多くの企業の壊滅的な被災やサプライチェーンの寸断等の影響で一時的な生産の停止・遅れが生じましたが、関係者が一丸となった復旧への努力が功を奏し、予想以上の早い回復を実現しつつあります。長期的な工場再建、プラント復興などの需要増加、震災後のリスク管理への投資や、環境・新エネルギー分野への投資増加などの追い風の要素がある一方、ギリシャに端を発した欧州経済圏の不安、一向に景気回復に向かわない米国、これらの影響による新興国の景気の失速などによる、輸出関連企業の業績悪化や、さらには円高による日本全体の景気の悪化も懸念される中、2011 年度の売上高は、前年度比 4.4%増の 8,329 億円の見込みとしました。

2012 年度も、当面の間、不確定要素が続くことが予測されるものの、売上高は前年度比 2.5%増の 8,540 億円、以降、2015 年度まで緩やかに伸長すると予測しました。

なお、本日発行・発表の「電気計測器の中期予測 2011～2015 年度」は有料で頒布致します。

「電気計測器の中期予測 2011～2015 年度」版発行・発表会の開催概要：

- ・主 催：(社) 日本電気計測器工業会 需要予測委員会
- ・開催日時：平成 23 年 12 月 9 日 (金) 13:30～15:30
- ・場 所：日本橋浜町 F タワー ホール
- ・参加人数：約 100 名

発行刊行物： 書籍名：「電気計測器の中期予測 2011～2015 年度」

発行日：平成 23 年 12 月 9 日

頒布価格： 一 般：¥8,400- (税込・送料別)

JEMIMA 会員：¥3,150- (税込・送料別)

お申込み：当工業会ウェブサイト URL：<http://www.jemima.or.jp>

お問合せ先：社団法人 日本電気計測器工業会 需要予測委員会 事務局 赤羽

電話：03-3662-8182

【「電気計測器の中期予測 2011～2015 年度」の主な内容】

【掲載内容】

序

第1章 本書の使い方

第2章 中期予測の概要

第3章 電気測定器（一般）の中期予測

第4章 半導体・IC測定器の中期予測

第5章 PA計測制御機器の中期予測

第6章 指示計器の中期予測

第7章 放射線計測器の中期予測

第8章 環境計測器の中期予測

第9章 電力量計の中期予測

工業会自主統計

